

■平成26年度みやこユニバーサルデザイン賞青少年アイディア部門の所感

青少年アイディア部門には796点の応募があり、昨年の応募点数が580点から大きく応募数が伸びています。京都市内の児童館、小学校、中学校、高等学校で広く“みやこユニバーサルデザイン”が認知されこと、積極的に授業に取入れて指導されている学校も多くなり、“みやこユニバーサルデザイン賞”が定着してきた事がよくわかります。

青少年アイディア部門は例年どおり、小学校低学年、小学校高学年、中学生、高校生の4グループに分けて審査を行いました。

小学校低学年では、“じぶんでのめるよ”が優秀賞、“子供も食べられます表示”, “手ぶくろアイロン”がアイディア賞に選ばされました。“じぶんでのめるよ”は自動販売機に関するアイディアなのですが、子供にとって不便であった体験からの素直な提案で納得させられました。アイディア賞の提案も低学年の子供としての体験からの提案で分かりやすく具体的です。

小学校高学年では“色が変わるなべ”が優秀賞、“らくらく上下手すり”, “簡単に開ける牛乳パック”がアイディア賞に選ばれました。前者2案は安全という切り口からの提案です。後者は実現可能な提案で解りやすい優れたアイディアです。

中学生では、“字幕つきインターホン画面”が優秀賞, “光る！LEDかぎ穴”, “栄養はっきりマーク”, “車の雨よけ”, “透明のドアの冷蔵庫”がアイディア賞に選ばされました。中学生からの提案では、例年は公共に関わる提案や商品提案が多く見受けられるのですが、今年度は生活での実体験に基づく提案が多くありました。公共的な提案など大きなテーマを選択するとどうしても自身の実体験から外れ、現実味が薄らいでしまいます。その点、今年度の入賞提案では生活者の視点が感じられ、誰もが理解出来るものでした。

高校生では、“音が見えるオーケストラコンサート♪”, “一目薬（ひとめやく）”が優秀賞, “カラフル通り”, “おしゃべりシャワー”がアイディア賞に選ばされました。“音が見えるオーケストラコンサート♪”はユニバーサルデザインの理念が明確に反映されています。誰もが楽しめるコンサート企画ですが、現状のコンサートよりも参加者皆にワクワク感が強いだろうなと評価されました。“一目薬（ひとめやく）”は、視覚情報で使いやすさ、安全を実現しようとするもので実現可能な良い提案です。アイディア賞の“カラフル通り”では、京都という伝統的な町並みに対する提案としてどうなのかといった意見もありましたが、町並みへの調和の問題は彩度や選択カラーで調整可能なので、それよりも地図との連携が図れる路面の色分けというアイディアそのものに良さがあると評価されました。“おしゃべりシャワー”は誰もが経験する洗髪時のブラインド状況を助ける有用な提案であると評価されました。

青少年アイディア部門全体としての印象では、生活に潜むユニバーサルデザインの対象となる問題発見の方法がうまく指導されていると感じました。

青少年アイディア部門

テーマ：生活の中のユニバーサルデザイン～いろんな人の立場に立って考えよう～

みやこユニバーサルデザイン優秀賞



じぶんでのめるよ

いえふじ りんたろう
家藤 凜太郎

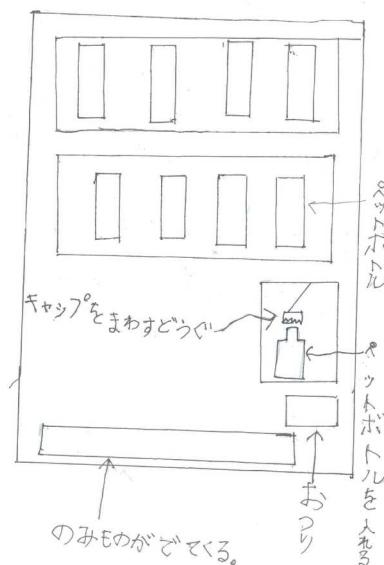
立命館小学校・1年

【作品概要】

ペットボトルのキャップを外すための道具を設置します。そうすれば力のないお年寄りや子どもが自分で開けられます。

【審査員コメント】

力のない人がキャップの蓋を開けられるアイディアはみんなにやさしく、とても良い。考えた人の思いやりを感じる。





Universal
Design

色が変わるなべ

うえもり ち づる
上森 千鶴

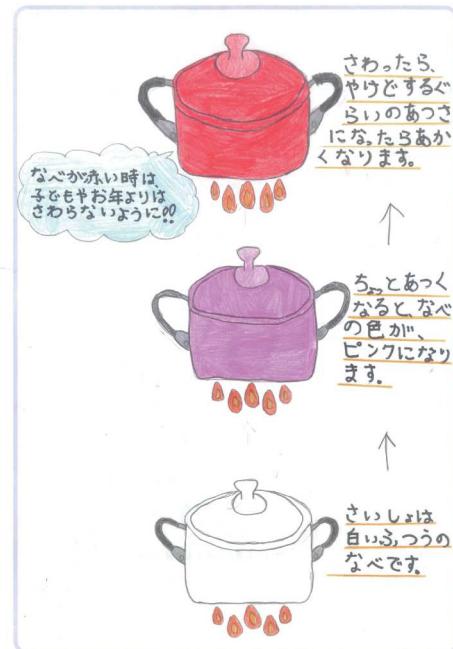
南太秦小学校・4年

【作品概要】

小さい子からお年寄りの人たちが火傷をしないよう
に鍋の色を見て「今は熱いな」と分かってもらえる
ように工夫しました。

【審査員コメント】

簡単で分かりやすいところが良い。料理の煮炊きの
とき、鍋の外側の色だけで熱さが分かると大変便利
で安全で良いアイデアだと思う。



Universal
Design

字幕つきインターホン画面

おおしま び お ら
大島 美緒羅

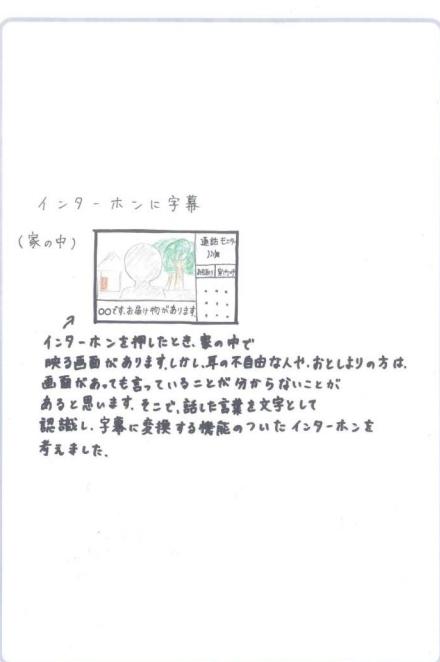
西京高等学校附属中学校・1年

【作品概要】

難聴の友達に不便なことを質問したとき、「インター
ホンの声が分かりにくい」と教えてくれました。話
した言葉が字幕になって表示される機能をつければ
良いと思いました。字幕の文字を大きくすること
でお年寄りにも優しいデザインになります。

【審査員コメント】

実際に困っている人にリサーチして考える点が素晴
らしい。聴きにくさへの気付きに基づき、音声をダ
イレクトに字幕に変換するという斬新な発想を評価
した。





Universal
Design

音が見えるオーケストラコンサート♪

うめの しんいちろう
梅野 慎一朗

京都すばる高等学校・2年

【作品概要】

歌謡曲は視覚的に楽しめるようになってきていますが、歌謡曲だけでなく、オーケストラの良さもより多くの人に感じてもらいたいと思っています。それを実感するにはある程度の音楽に関する知識と感覚が必要となります。また耳の聞こえない人も多くいます。そのような人にもオーケストラの良さを実感してもらうためにどのような工夫が出来るか考えました。

【審査員コメント】

音楽をビジュアル化する発想が素晴らしい。視覚障害のある人にも音楽を楽しんでほしいという気持ちが伝わってきた。



一目薬（ひとめやく）

えだ はるき
江田 遥樹

京都すばる高等学校・2年

【作品概要】

病院からもらう錠剤やカプセルの薬の容器は、色も形もどれもほとんど同じで、何錠飲めば良いかも袋にだけ書いてあるので、袋から出したら見ただけでは区別がつきません。そこで、この容器自体にマークや色を付けたら誰に対してもわかりやすくなり、便利になりそうだと思い「一目薬」を考えました。

【審査員コメント】

誰にでも理解できる良い案。実現にはいくつかのハードルがありそうだが、このアイデアで多くの人が便利で安全になると思う。

いつ飲めば良いか一目でわかる！



何の薬か一目でわかる！

